

13. 啓蒙思想

- 明治維新…1868年、明治維新によって幕藩体制は終わりをづけ、明治新政府が誕生した。今までの欧米先進諸国に追いつくべく、日本は近代的な国民国家体制を急いで確立せねばならなかった。そのため、天皇を中心とする中央集権化がはかられた。
→殖産興業(産業を勃興させよう)・富国強兵(国を豊かにし、兵力を強化しよう)
- ・近代化…人々の考えが合理的・科学的になること。日本においては、西欧の文物の導入が主にあげられ、特にそれが政府・官僚主導で行われたことが特徴的(上からの近代化)
 - ・文明開化…明治初期における、旧習を打破し西洋文明を積極的に取り入れようとする風潮(ガス灯・郵便制度・電信・鉄道・洋服・ザンギリ頭…)
- 啓蒙思想家…伝統的な権威・迷信・因習などを否定し、人間の理性によって生活や社会制度を見直そうとした人物。明六社(啓蒙思想団体)が啓蒙運動の中心として有名
- ◆明六社のメンバーと思想
- 福沢諭吉[1834-1901]大分の下級武士の出身。欧米の文明を見聞し、日本の近代化の必要性を説いた[著書]『西洋事情』(西洋文化の紹介)『学問のすゝめ』『文明論之概略』[私塾]慶応義塾
 - ・天賦人權論…人間はもともと平等で、何人も侵せない自由・平等・幸福追求の権利を生まれながらに持っているという考え。自由民権運動の理論的根拠となった
「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云へり…」『学問のすゝめ』
「門閥制度は親の敵(かたき)でござる」
 - ・独立自尊…人間の尊厳を自覚し、他人に過度に依存せず、各々が自立した生活を営もうとする精神
「一身独立して一国独立す」『学問のすゝめ』
 - ・実学…実生活に役立つ西洋の学問(特に数理学)⇔虚学(東洋の漢学) 「人間普通日用に近き実学」
 - ・脱亜論…福沢の晩年の考え。近代的改革の進めぬアジアから抜け出し、近代的な西洋諸国の仲間入りを志向(脱亜入欧) 中国・朝鮮は「アジア東方の悪友」→「謝絶」→脱亜入欧(欧米列強に対抗)
 - ・官民調和…欧米列強から日本の独立を守ることが第一→急進的民権運動「駄民権」政府と民衆の協力
 - 中村正直[1832-91]明治期の啓蒙思想家・教育者。個人主義道徳・功利主義・自由主義を説く
スマイルズ『Self Help』→『西国立志編』 J.S.ミル『自由論』→『自由之理』を翻訳
 - 西周[1829-97]明治期の哲学者・思想家。オランダに留学し、実証主義・功利主義・永久平和論などの影響を受ける。維新前は蕃書調所や開成所に勤め、維新後は明治政府に出仕した
「Philosophy」→「哲学」と翻訳 多くの訳語を作った
 - 森有礼[1847-89]明治期の政治家。明六社の創立者。幕末の留学体験により、西洋文明の薫陶を受けた。文部大臣として学校令を制定し、ピラミッド型の教育体制で日本の近代化・富強化を図るも、国粹主義者の反感を買い、憲法発布当日に暗殺。一夫一婦制を説く
 - 加藤弘之[1836-1916]
天賦人權説を支持→進化論の優勝劣敗・生存競争などに基づく国権論→自由民権思想に反対
 - 津田真道[1829-1903]維新後、政府に仕え、刑法などの立法に尽力

センター問題に挑戦! No.13 (2006年本試) [標準]

啓蒙思想家たちが結成したグループに明六社がある。次のア・イは明六社のメンバーに関する記述であるが、それぞれ誰の事か。その組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

ア 夫婦の相互的な権利と義務に基づく婚姻形態を提唱し、自らも実践した。

イ 「哲学」、「理性」などの訳語を案出し、西洋哲学移入の基礎を作り上げた。

- ① ア 中村正直 イ 加藤弘之 ② ア 中村正直 イ 西周
③ ア 森有礼 イ 加藤弘之 ④ ア 森有礼 イ 西周

[No.12の答② 説明は略]